

# とよた市議会 だより

12月市議会  
定例会号  
平成24年1月15日

ファイルNo.  
108

市立学校設置条例の一部改正条例

## 24年度から築羽小学校を敷島小学校に統合します

小中学校教室用扇風機の購入

## 夏の暑さ対策を実施し学習環境を改善します



ピックアップ  
TOPICS  
トピックス

志賀子どもつどいの広場  
(紙芝居ひるばの様子)

▲平成20年に開所した「志賀子どもつどいの広場」では「紙芝居ひるば」などが定期的に行われています。議案第109号の可決により、来年4月には新たに「柳川瀬子どもつどいの広場」が開所します。民間団体との共働運営により、これまで以上に地域に根ざした施設を目指します。

### ●トップインフォメーション

- 地域市議会報告会 ..... ②
- 議会活性化に関するシンポジウム ..... ③

### ●議案説明・討論・採決一覧

- 条例の一部改正、財産の取得 ..... ④
- 議案審議結果 ..... ④ ⑤

### ●常任委員会 付託案件・請願を審査 ..... ⑥

### 市政について問う!

### ●一般質問 24人の議員が質問 ..... ⑧

### ●トピックス

- 11月市議会臨時会
- 市議会傍聴・防犯キャンペーン ..... ⑫



# 市民のみなさまとともに活動します

今年度、豊田市議会では初めての地域市議会報告会を開催するとともに、議会活性化に関するシンポジウムを開催しました。これは、豊田市議会基本条例に規定する市民への説明責任を果たすとともに、市民の議会活動に参画する機会の確保を図ることにより、市民にわかりやすく開かれた議会を実現するために実施したものです。

なお、報告会、シンポジウムの模様は豊田市議会ホームページでご覧いただくことができます。



## ◆地域市議会報告会



### 第1回

■日 時／平成23年10月22日(土) 午後1時～2時30分

■場 所／藤岡南交流館

### 第2回

■日 時／平成23年11月19日(土) 午後2時～3時30分

■場 所／豊田市福祉センター

### ■内 容

- ★議会活性化の取組紹介
- ★9月定例会審議結果の報告／質疑
- ★参加者との意見交換

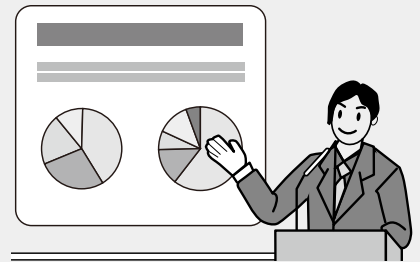
## 開催概要

地域市議会報告会は、議員が各地域に伺って、議員の議会活動に伴う成果等を報告し、あわせて市民との情報交換、情報共有等を行うものです。

2回開催した報告会には、のべ167名の方にご参加いただきました。

報告会では、これまでの豊田市議会の議会活性化の取組を議会運営委員長から報告し、その後、9月定例会の報告を各常任委員長が行いました。

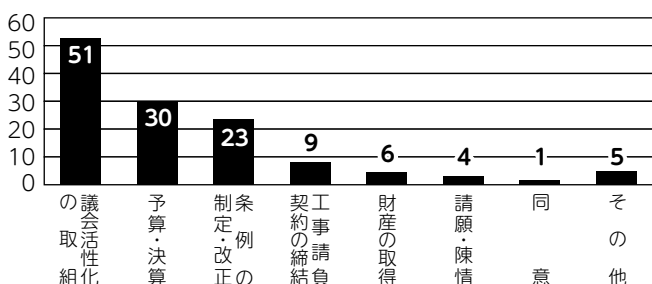
最後に、議案審議に対する質問、議会に関する質問などに回答を行い、参加者と意見交換をしました。



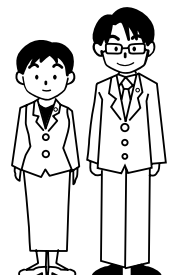
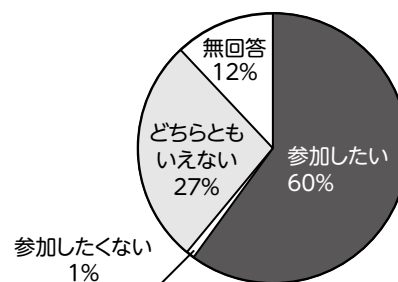
## アンケート結果 ※一部抜粋

㊦ どのような報告内容に興味をもちましたか？

(複数回答)



㊦ 議会報告会にまた参加したいと思いますか？





# ◆議会活性化に関するシンポジウム



- 日 時／平成23年11月3日(木) 午後2時～4時
- 場 所／豊田産業文化センター
- テーマ／議会活性化と議会・議員の役割、責務
- 内 容

### 第1部

- ★豊田市の議会活性化  
「議会基本条例と議会活性化の取組」

### 第2部

- ★シンポジウム  
～榊原康政公ゆかり4市による議会活性化シンポジウム～  
「開かれた議会を目指して!議会・議員の役割、責務」

## 開催概要

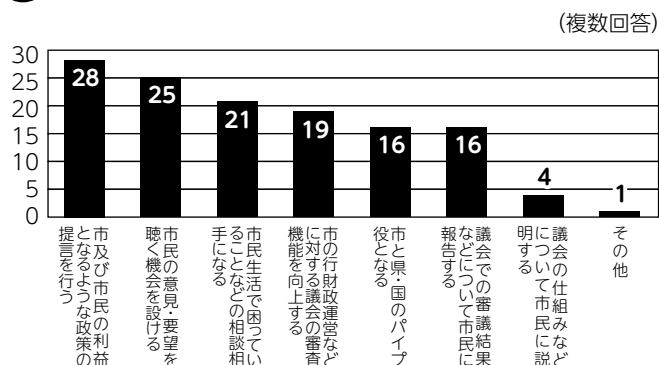
議会活性化に関するシンポジウムは、榊原康政公ゆかりの4市※(兵庫県姫路市、新潟県上越市、群馬県館林市、豊田市)の各市議会において議会活性化に携わっている議員をシンポジストにお迎え、各市議会での取組、災害時における対応などを紹介し、意見交換をしました。

シンポジウムには、約170名の方にご参加いただきました。最後に、会場から議会に関する質問などに回答を行い、参加者と意見交換をしました。

※戦国時代の武将で、徳川四天王の一人に数えられる榊原康政公(1548年現在の豊田市生まれ)にゆかりの深い4市で、「榊原康政公に都市づくりを学ぼう」と、歴史と文化を活かしたまちづくりを通して、お互いに友好的輪を広げることを目的に「榊原康政公ゆかり四市市長懇談会」を結成し、毎年テーマを設け、各市で順番に懇談会を行っています。平成8年姫路市開催の際には、「都市災害時相互応援協定」を締結し、協力関係を築いています。

## アンケート結果 ※一部抜粋

### ◎ 議会、議員に何を期待しますか?



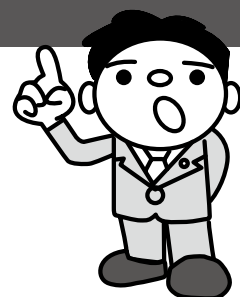
### ◎ 今後期待するテーマはありますか?



## info 今後の取組

地域市議会報告会、議会活性化に関するシンポジウムは、今年度設置された議会活性化推進特別委員会が中心となり運営しました。この特別委員会では、今回の実施結果を踏まえ、市民のみなさまにわかりやすく開かれた議会が実現するためには、次年度以降どのように進めていけばよいか検討しています。

検討結果については、議会だより、市議会ホームページ等でお知らせします。







# 条例の制定・改正、財産の取得など36議案を議決

	主な案件名	内容
条例の部改正	【第106号】 市民文化会館条例の一部改正条例	利便性や利用率の向上を図るため新たな利用区分等を設けます。開館前の1時間を準備の時間として利用できたり、大ホール1階席のみの使用料金を設定します。また準備・練習を行う場合、通常の半額にするなどの使用料を設定します。
財産の取得	【第120号～124号】 小中学校教室用扇風機	豊田市内のほぼ全校の普通教室で夏場には室温30℃を超える状況があるため、小中学校の教室に扇風機を設置し、学習環境を改善します。1教室あたり天井式4台を基本に設置し、来年の夏には稼働できるようにします。

## 討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

### 諸 派 大村 義 則

議案第126号は、市が所有する公衆道路・用水などの土地を環境影響評価の最終結論が出る前に便宜をはかる趣旨で提供を行うものであり、公共団体としての判断の適切性が問われると考え、反対。

請願第4号は、市民が取り組んだ請願署名は、来年の夏までに小中学校の扇風機の設置を間に合わせるための補正予算の決定を後押しするものとする。さらに、議会としては、請願を採択することにより扇風機の設置が必要だという一致した意思、総意を明確にすることになると考え、賛成。

### 自民クラブ 杉 浦 昇

議案第104号は、統廃合の議論を、単に子どもの教育環境の問題だけではなく、定住や農山村地域の活性化を考える機会と捉え、地域との共働を模索し、より長期的、複合的な施策展開を期待し、賛成。

議案第120号～124号は、今後も、環境モデル都市として、ハード、ソフト

両面での対策を総合的に進めていただくとともに、特に体力的に未発達なこども園への夏の暑さ対策も早急に取り組んでいただくことを期待し、賛成。

### 市民フォーラム 安 藤 康 弘

議案第109号は、家庭・地域の教育力再生に寄与するべく子育て支援施設の充実に向け、今後、施設の配置バランス等に配慮した事業の推進をお願いし、賛成。

議案第126号は、この研究開発施設は、将来の経済や先端技術開発により、さらなる自動車産業の発展と本市の活性化に大きく寄与するものと確信している。今後は、計画通りの事業推進に向け、引き続きフォロー体制の構築をお願いし、賛成。

### 公明党 佐 藤 恵 子

議案第100号は、基準降雨の緩和など、開発しようとする方や地主の方への対応もなされており評価する。市民の安全安心につながる条例施行の

成果を期待し、賛成。

議案第112号は、生産拠点の海外シフトや、地方での生産拠点整備など生産拠点の再編が進む中、これらの影響を最小限に抑えるためには、今回の条例改正の交付要件の緩和を図ることや、技術開発拠点の立地誘導を図ることは、企業を誘致し、ひいては、雇用を生み人材を育て産業の発展に至ると考える。今後は、トップセールスや今後続く誘致策も必要であり期待をし、賛成。

### 諸 派 岡 田 耕 一

議案第102号は、今後40年間に支払う予定の賃借料約8億円を圧縮することができるということで、適切な用地取得であり、有効な基金の活用と判断し、賛成。

議案第112号は、企業誘致における自治体間の競争が激しさを増すなか一定の優位性も図られたと考えるが、大いに期待できる分野である航空宇宙産業が規則で定める重点産業分野から除外されているため、できる限り早い段階で追加されることを期待し、賛成。

## 議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています。

12月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会 派 別 賛 否 <small>※自民クラブは議長を除く</small>							
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 9名		公 明 党 4名		諸 派 4名	
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
◆議 案										
第100号	特定都市河川浸水被害対策法に基づく豊田市長の許可を要する雨水浸透阻害行為の規模等を定める条例	原案可決	27	0	9	0	4	0	4	0
101	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
102	基金条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0

第103号	市税条例等の一部改正条例	原案可決	27	0	9	0	4	0	4	0
104	市立学校設置条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	2	2
105	生涯学習センター条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
106	市民文化会館条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
107	コンサートホール・能楽堂条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
108	暴力団排除条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
109	子育て支援施設条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
110	食品関係営業施設の衛生管理等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
111	国民健康保険税条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
112	企業誘致推進条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
113	有料化粧室条例を廃止する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
114	平成23年度一般会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
115	// 国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
116	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
117	// 介護保険事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
118	// 簡易水道事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
119	// 後期高齢者医療特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
120	財産の取得(小中学校教室用扇風機(その1))	//	27	0	9	0	4	0	4	0
121	// (小中学校教室用扇風機(その2))	//	27	0	9	0	4	0	4	0
122	// (小中学校教室用扇風機(その3))	//	27	0	9	0	4	0	4	0
123	// (小中学校教室用扇風機(その4))	//	27	0	9	0	4	0	4	0
124	// (小中学校教室用扇風機(その5))	//	27	0	9	0	4	0	4	0
125	// (高度救命処置用資機材)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
126	財産の処分(豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業用地(下山田代町ほか地内))	//	27	0	9	0	4	0	2	2
127	指定管理者の指定(食肉センター)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
128	// (知的障害者生活ホーム喜多ハウス)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
129	// (旭高原自然活用村)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
130	// (豊田高等職業訓練校)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
131	// (貝津駅前駐車場ほか4施設)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
132	愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議	//	27	0	9	0	4	0	4	0
133	市道の認定(4路線/3,092.0m)	//	27	0	9	0	4	0	2	2
134	市道の廃止(4路線/7,371.6m)	//	27	0	9	0	4	0	2	2
135	訴えの提起(損害賠償請求事件)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
<b>◆同意</b>										
第6号	公平委員会委員の選任(再任: 碓 櫻氏)	同意	27	0	9	0	4	0	4	0
7	人権擁護委員の推薦(新任: 内藤朋子氏 再任: 加藤智子氏、田澤美枝子氏、平山直賢氏)	//	27	0	9	0	4	0	4	0
<b>◆請願</b>										
第2号	住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める請願書	不採択	0	27	0	9	0	4	2	2
3	高齢者の介護・福祉・医療の施策拡充についての請願書	//	0	27	0	9	0	4	2	2
4	早急に小中学校の普通教室に扇風機の設置を求める請願書	採択								
<b>◆陳情</b>										
第10号	大幅増員と夜勤改善で、安全・安心の医療・介護を求める陳情書									
11	「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める陳情書									
12	「『子ども・子育て新システム』に反対する意見書」提出を求める陳情書									
13	「緊急事態基本法」の制定を求める意見書提出を求める陳情書									
14	東日本大震災発生の日に関東官庁施設に半旗掲揚を求める意見書の提出を求める陳情書									
15	自衛隊等の大震災救助活動に対して感謝の決議を要望する陳情書									
16	豊田市大池町夕取砂防指定地域内の森林伐採・残土処分場建設に関する陳情書									
17	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書									
<b>◆議員提出意見書</b>										
第3号	自動車関係諸税の抜本見直しについての意見書(案)	原案可決	27	0	9	0	4	0	1	3



12月7日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で審査しました。  
委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

## 産業建設 委員会

12月8日、付託された8議案を審査し、議案のすべてを承認しました。他に陳情2件を報告しました。

### 【第112号】豊田市企業誘致推進条例の一部を改正する条例

**質問** 企業の誘致にあたり、ターゲットを絞った戦略的誘致ということだが、市内の組織体制の整備はどのようか、また、どのタイミングでトップセールスを考えているのか。

**答弁** 今年度に行った企業進出意向調査を踏まえ、県内外を問わず重点産業分野の企業を訪問していきたいと考えており、現行の産業労政課産業立地担当を中心に、関東圏の企業等の情報に詳しい東京事務所とも協力体制をとりながら効率的な企業誘致活動を推進していく。また、基本的には進出に際し契約前の最後の段階でのトップセールスを考えているが、本市の産業振興に欠かせない企業の誘致については初期の段階からのトップセールス導入も検討している。

### 【第131号】指定管理者の指定(貝津駅前駐車場ほか4施設)

**質問** 4つの駐車場の指定管理をすることで市民サービスはどのように向上するのか。

**答弁** 民間事業者の持っているサービスの向上や管理の効率化に関するノウハウを活用できる。具体的にはICカードの「マナカ」やクレジットカードを使った料金の支払が可能になったり、カーナビゲーションやインターネットで駐車場の満空情報の提供を指定管理者が行ってくれること、さらに電気自動車やプラグインハイブリッド車に使える充電器を指定管理者がそれぞれの駐車場に配置をしてくれることなどが市民サービスの向上につながると考えている。

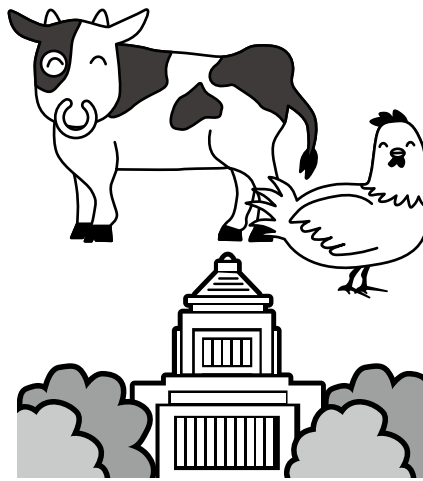
## 環境福祉 委員会

12月9日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は不採択としました。他に陳情3件を報告しました。

### 【第110号】豊田市食品関係営業施設の衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例

**質問** 生食用食肉は牛肉が対象となっているが、その他の肉は届出の対象ではないのか。

**答弁** その他の肉は対象ではないが、牛レバー、鶏肉等の生食用食肉については食中毒の発生が危惧されるため、今後、国で規格基準等が検討されていく予定である。



### 【第113号】豊田市有料化粧室条例を廃止する条例

**質問** 廃止する有料化粧室は駅に近いが、跡地の利用方法はどのように考えているのか。

**答弁** 関係部署と調整した結果、利用要望がなかったことから、施設を解体し有料化粧室を建設する前の状態であった広場として整備する。

## 教育次世代 委員会

12月12日、付託された9議案を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は採択としました。他に陳情2件を報告しました。

### 【第104号】豊田市立学校設置条例の一部を改正する条例

**質問** 築羽小学校と敷島小学校の統廃合後、住民の感情のずれが想定されるが、そのフォローはどのように考えているか。

**答弁** 今年度の敷島小学校の運動会・学芸会に築羽小学校の児童が保護者も含め一緒に参加をして交流を深めた。

また、自治区においてはスポーツを通じて住民交流が図られている。教育委員会としては行政が協力し、実施できる範囲でフォローしていきたいと考えている。

### 【第106号】豊田市民文化会館条例の一部を改正する条例

**質問** 料金改正によって使用料収入が減少するのに、なぜ改正するのか。

**答弁** 都心の公共施設の活性化を検討する中で、市民文化会館の利用者の利便性の向上を図り、使いやすい施設としていくためである。







委員会

生活社会  
委員会

12月13日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第105号】豊田市生涯学習センター条例の一部を改正する条例

**質問** 今回、新たに松平交流館に中会議室を設定することだが、これまで、40人から50人の規模の会議にはどう対応していたのか。また、そのことによってどのような支障があったのか。

**答弁** これまでは大会議室を使用していたが、松平交流館の大会議室は他の交流館の多目的ホールと同規模の面積があるため、使用料が高く、椅子や机の出し入れなども不便であった。また、会議と健康教室や太鼓の練習などが重なるなどの支障があった。

【第125号】財産の取得（高度救命処置用資機材）

**質問** 今回購入する心電図伝送装置はどのようなものか。また、更新理由に携帯電話の通信方式の変更によるものかあるが具体的にはどのような内容か。

**答弁** この装置は、救急隊が心筋梗塞など重大な心疾患を疑った場合や、医師からの要請があった場合に、搬送先の医療機関に、傷病者の心電図等の情報を送信する際に使用するものである。この送信には既存の携帯電話事業者の電波を使用しているが、この通信方式が平成24年4月から新たな通信方式に完全移行することにより、これまでの機器が使用できなくなるからである。

企画総務  
委員会

12月14・19日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は不採択としました。他に陳情4件を報告しました。

【第108号】豊田市暴力団排除条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

**質問** 市の窓口申請に来る者が暴力団関係者であるかどうかを警察に照会する基準はどのようなか。

**答弁** 市が警察と締結した合意書において、警察への照会方法等を定めている。照会の必要性に関する判断基準については、基本的には疑義が生じた場合に照会することになるが、補助金などの金銭を伴う事務事業や、市営住宅への入居など、取消処分による排除措置の実効性を確保することが困難な事務事業については、申請の全てについて照会することも必要になってくると考えられ、今後ルール作りを進めていく。

【第126号】財産の処分（豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業用地）

**質問** まだ買収ができていない土地の件数、場所及び面積はどのようなか。

**答弁** 本事業の用地取得の進捗率は99.9%で、残る未買収地は岡崎市の区域内にある土地1件で、面積約130平方メートルのため池である。なおこの土地は愛知県との共有地で、相手方の持ち分は約7平方メートルである。

予算決算  
委員会

12月7日から16日にかけて付託された補正予算6議案を審査し、全ての案件を承認しました。

【第114号】平成23年度豊田市一般会計補正予算

**質問** 人事課所管の人件費について、市職員給与条例の一部改正以外に減額補正となった要因は何か。

**答弁** 人事院勧告に基づいた給与の減額のほか、当初予算が確定した後の退職申し出や内定辞退の申し出等により、職員数が減ったためである。

**質問** 不妊治療費補助金の初年度申請回数が2回から3回になったことにより申請者は増加しているのか、また、1回あたりの助成額の上限額が10万円から15万円に引き上げられたが、1回あたりの平均額はどれくらいか。

**答弁** 今年度は11月末時点で初年度の補助申請者は79名で、そのうち3回目の補助申請者は6名である。今後は年度末に向けて増加すると見込んでいる。また、助成額の平均は1回あたり13万3,000円である。





12月5日から7日にかけて、24人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

神谷 和利

自民クラブ

- 自治体の防災危機管理
- 安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- 任意予防接種の現状と今後

質問 防災基本条例制定に向けて

近年、防災に関する独自の条例を定める動きがみられる。今後、本市においても防災に関する条例制定の検討が必要と感じるが、防災基本条例制定の考えは。

答 弁 社会部

今後、防災の取組を進めていくうえで、「自助」「共助」「公助」の理念のもと、市民、事業者、行政、防災関係機関が連携・共働していくことが必要不可欠で、効果的な防災対策と地域防災力の向上が重要。防災基本条例の制定は今後の防災施策を進めるうえで非常に有益であるため、防災に関する条例の制定に向けて準備を進める。

光岡 保之

自民クラブ

- 地域主権改革関連3法の成立と本市の対応
- 西部緑地保全の取組

質問 国からの権限移譲にあたっての本市の準備と計画は

地域主権改革関連3法の1つである第1次一括法は、地域の自主性や自立性を高めるための義務付け・枠付けの見直しや自治体の条例制定権の拡大が盛り込まれている。法律施行を控え、本市の実情に合う条例制定を急ぐべきと考えるが本市の準備態勢と全体計画は。

答 弁 総務部

今回の見直しは広範囲に渡り、全庁的に状況把握や情報共有に努めている。国から具体的な条例制定基準が示されていないものもあり、すぐに全てを整理することはできない。平成25年4月1日までに全ての条例整備が必要のため、基準を確認し迅速に対応する。

鈴木 章

自民クラブ

- 豊田市森づくり計画の進捗と課題
- 子どもたちに起こっている様々な問題への対応

質問 団地化のための境界画定促進対策

国はこれまでに比べ大きな単位での伐採や林道整備を行うことを計画している。これにより、団地化のための境界画定の面積が広くなり、さらに多くの森林所有者の理解を求められるようになってくるが、促進対策はどのようなか。

答 弁 産業部

市がこれまで行ってきた森づくり団地の戦略の方法で対応できると考えている。しかし団地化には森林の境界画定は不可欠であり、森林所有者自らが画定作業をしなければならない。そのためには、森林所有者のやる気を奮起させることが大切であり、市と森林組合が一層連携し、地域森づくり会議や森林所有者に働きかけていく。

深津 眞一

自民クラブ

- 入札契約制度適正化に向けた取組
- 豊田市の人づくり教育

質問 子ども・若者支援地域協議会設置の考えはあるか

子ども・若者育成支援推進法では、地方公共団体が「子ども・若者支援地域協議会」の設置に努め、子どもと30歳代までの若者に必要な支援を行うよう規定されているが、設置導入への本市の考えは。

答 弁 子ども部

ひきこもり・ニート等の困難を抱える若者への支援等に取り組む連絡調整会議を開催し、情報交換を実施している。今後は若者をめぐる問題状況や社会資源等を把握し、適切な支援を組み合わせるネットワーク構築の必要性を認識する中で、子ども・若者支援地域協議会に相当する(仮)自立支援地域協議会の設置についても検討する。

木本文也

自民クラブ

- 子育てを支える取組
- 外国人登録制度改正

質問 待機児童のほとんどを占める3歳未満児の受け皿の確保は

待機児童のほとんどを占め、今後急激な増加が想定される3歳未満児の受け皿の確保について、今後の方針と手法は。

答 弁 子ども部

既存施設の機能見直しによるソフト中心の対策を実施していく。幼稚園認可園の空保育室を活用した乳児保育の実施や、幼稚園認可園が複数ある地域については、幼稚園機能の集約をすることで、空いた園を乳児専用保育所へ見直し、敷地に余裕のある保育所認可園で乳児棟を設置し乳児の受け入れを増やすことなどを検討している。

山内 健二

市民フォーラム

- 豊田市の子どもたちへの教育

質問 教育長が就任してからこれまでの取組について

教育長就任後、これまでの学校教育に関する取組と今までに変えてきた部分にはどのようなことがあるか。

答 弁 教育長

教育委員会全体の組織風土や職員の意識改革のため「スピード・熱意・プロ意識」を持って業務にあたるよう言い続けてきた。また、学校教育に関しては「開かれた学校をつくること」「使命感と指導力のある教師の育成」「学校経営のマネジメント能力を高めること」の三つの視点で改革に取り組んでいる。現状に甘えることなく常に改革の視点を持ち市民に信頼される教育行政を推進していく。





※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議員団 諸派：会派所属無

## 一般質問

**鎌田ひとみ** 公明党

- 子ども・若者育成支援
- 発達障がい児・者の支援

**質問** ひきこもりへの支援は関係機関との連携が必要

近年問題となっている子どもや青少年のひきこもり等に関し、公的施設の充実や専門家の配置、関係機関のネットワーク構築が急務であり、社会参加までのトータル支援が必要と考えるが、市の見解は。

**答弁** ــــــــــــــــ 子ども部

ひきこもり・ニート等の困難を抱える若者への支援等に取り組む連絡調整会議を開催し、情報交換を実施している。今後は若者をめぐる問題状況や社会資源等を把握し、適切な支援を組み合わせるネットワーク構築の必要性を認識する中で、(仮)自立支援地域協議会の設置についても検討する。

**小島政直** 公明党

- 新しい高齢者福祉を目指して

**質問** 高齢者ボランティア・ポイント制度の導入を

ボランティア活動を行った高齢者にポイントを発行し、介護保険料の軽減や商品との交換ができる「高齢者ボランティア・ポイント制度」が一部自治体で実施されているが、本市への導入の考えは。

**答弁** ــــــــــــــــ 福祉保健部

高齢者ボランティア・ポイント制度は介護予防や社会参加の促進などのメリットがある一方、他のボランティア団体や事業者との競合、ポイント管理が難しいなどデメリットもある。地域の支え合いの仕組みづくりについて具体的な事業内容や方法を検討するなかで、この制度についても時間をかけて研究したい。

**近藤光良** 自民クラブ

- 小中学校における防災教育の推進
- 子どもの居場所づくりとしての公園整備
- 産業振興の充実

**質問** 新たな産業振興策における本市の支援体制は

現在の経済危機を克服するには将来を見据えた新たな産業振興策が急務だが、本市はどのような支援体制に取り組んでいるか。

**答弁** ــــــــــــــــ 産業部

新たな事業展開に挑戦する中小企業の人材育成や技術課題、経営課題にワンストップで対応する支援体制を豊田商工会議所と豊田工業高等専門学校等と連携し整備していきたい。当面は豊田工業高等専門学校の地域共同テクノセンターの施設と機能を活用し、産学官が連携して運営していく予定。将来的には利用実績や企業ニーズをふまえ、より効果的な支援体制・支援内容を研究していく。

**日恵野雅俊** 自民クラブ

- 市税に関する納税者サービス向上と事務の効率化
- 交通事故防止に向けた取組

**質問** スクランブル交差点の設置と若宮町8丁目の経過は

市内へのセミスクランブル交差点の設置予定は。また、平成22年3月に死亡事故があった若宮町8丁目交差点の経過は。

**答弁** ــــــــــــــــ 社会部

豊田警察署によると、今年度中に三河豊田駅前、若宮町8丁目の交差点、平成24年度中には4箇所をセミスクランブル交差点にすると予定。若宮町8丁目交差点については、昨年事故関係者から「豊田市けやき通り交差点スクランブル化についての要望書」の提出を受け、歩行者と自転車の通行量調査を実施し、自転車も歩行者も渡れる横断歩道とセミスクランブル交差点を設置することになった。

**作元志津夫** 市民フォーラム

- 分権改革推進による自立した自治運営を目指して

**質問** 地域主権戦略大綱による本市への権限移譲について

昨年閣議決定した地域主権戦略大綱には「基礎自治体への権限移譲」が掲げられているが、今後どのような権限移譲が行われるのか。

**答弁** ــــــــــــــــ 総務部

8月に成立した第2次一括法の中で、地方分権改革推進委員会の第1次勧告で権限移譲すべきとされた条項の一部が法制化された。まだ反映できていない条項について地方からの提言等もふまえ今後一層の検討を行うこととされている。来年4月1日から本市に移譲される権限は80余りで、都市計画における地域地区や都市施設などの決定、介護保険事業者の指定等が挙げられる。

**岡田耕一** 諸派

- 本市における新たな墓地整備
- 新たな病児保育室の開設

**質問** 新たに開設が予定されている病児保育室について

新たな病児保育室の開設時期や利用条件、進ちょく状況と課題は。また、開設予定の病児保育室はどこか。

**答弁** ــــــــــــــــ 子ども部

新たな病児保育事業の実施について、開設時期等を含め医療法人と本市で協議を進めている。「豊田市病児・病後児保育事業実施要綱」に基づき契約するため、定員や料金などの利用条件は既設の施設と同じとなる。開設予定の病児保育室は上郷地区の医療法人だが、現在調整のため、進ちょく状況や課題を含め、まだ法人名を公表できる段階にない。開設準備が整った段階で広く市民に知らせ、利用拡大につなげる。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

伊井 房夫

自民クラブ

- 合併町村の地域核整備
- 開かれた学校づくり
- 第5期介護保険事業計画

**質問** 藤岡地区の地域核  
藤岡飯野地区の整備計画は

藤岡地区の住民は地域核である藤岡飯野地区の整備を期待しているが、市の考えは。

**答弁** 都市整備部

平成19年度から地元のまちづくり協議会による「まちづくり交付金」を活用したまちづくり整備を検討してきたが、県の事業である国道419号藤岡飯野町交差点の改良や支所・交流館の建て替えなどの実施時期が明らかになっていない状況である。今後は藤岡飯野町交差点の改良に伴う移転先の確保や定住促進の対策として、民間による「市街化調整区域における地区計画」を活用した開発などを地元まちづくり協議会と検討していく。

桜井 秀樹

市民フォーラム

- 障がい者にやさしいまち「とよた」をめざして

**質問** 発達障がい児のサポートに  
子育て支援センターの活用を

発達障がい児のサポートを行っている豊田市子ども発達センターでは、人数の多さと待機期間の長さなどが課題となっている。子ども発達センターのサポートを前提に、市内に15箇所ある子育て支援センターを活用し、待機者解消につなげてはと考えるがいかがか。

**答弁** 福祉保健部

現状では子育て支援センターで受け入れることは困難である。今後、子ども発達センターの地域展開について、関係部署と協議検討を進めるなかで、公共施設の空きスペースを含めた子育て支援センターの活用についても検討していきたい。

青山 さとし

諸派

- 豊田市の観光

**質問** スポーツ観光に関する  
具体的計画や取組について

スポーツ観光資源が豊富にある本市はスポーツ観光を推進すべきと考えるが、具体的計画や取組について伺いたい。

**答弁** 教育行政部

本市のスポーツ観光については、第2次生涯スポーツプランの中で「スポーツ観光と都心の活性化事業」と位置づけて推進していく。例えば、市内でスポーツイベントが行われる際には商工会議所や観光協会と協力して特産品販売や観光案内を実施し、来訪者へのホスピタリティ向上を図っている。今後も積極的にスポーツイベントの誘致を進め、おもてなし施策を充実させるなどスポーツ観光の推進に努める。

古木 吉昭

市民フォーラム

- まちづくり基本条例戦略プラン
- 収納率向上に向けた取組

**質問** まちづくり基本条例戦略プラン  
行動計画の見直し・改善について

「まちづくり基本条例戦略プラン」は市の仕事の質の向上と構造改革がねらいだが、平成22年度の課題を受け、平成23年度は行動計画をどのように見直し、改善したのか。

**答弁** 総合企画部

例えば、低炭素社会実現に向けエコファミリーの宣言世帯数を増やすという取組では、引き続き高い目標を維持し、より多くの市民参加が得られるようエコポイントの発行メニューを拡大した。また、職員力・組織力の向上や支出の最適化、東日本大震災を契機とした省エネの積極的な推進や危機管理への対応の取組など新たな行動計画も追加している。

根本 美春

諸派

- 放射能への市民の不安に応える対策を
- 高齢者が安心して暮らせる施策の充実を

**質問** 放射線測定機器購入の  
交付金の申請を

放射能による環境汚染、子どもへの健康被害が懸念されている。国が発表した放射線測定機器の購入に関する交付金制度について、本市も申請し早急な測定機器の購入と体制の整備が必要と考えるがいかがか。

**答弁** 学校教育部

文部科学省から都道府県に通知されている「安全・安心のための学校給食環境整備事業」の交付金については、事業対象となる都道府県は東北・関東などの17都県で、愛知県は対象外であるため、申請できる状況ではないが、測定機器の購入、測定体制の整備などについては現在検討している。

清水 郁夫

自民クラブ

- 企業誘致と中小企業への支援
- 豊田市の教育
- 豊田市の生物多様性に対する対策

**質問** 市内3湿地のラムサール条約  
登録に向けた進展状況は

矢並湿地、上高湿地、恩真寺湿地について、平成24年のラムサール条約登録に向け国へ働きかけを行うとしていたが、その後の進展は。

**答弁** 環境部

平成22年9月、環境省によって市内3湿地がラムサール条約湿地潜在候補地に選定され、現在、法的に保全が図られており、地元住民の賛意の確認を行っている。現在の潜在候補地は172箇所あるが、以前より保存会が活動している矢並湿地に加え、今年度から上高湿地と恩真寺湿地でも市民団体による保全活動が始まるなど、こうした地元の活動の盛り上がりを選定の後押しになると考えている。





一般質問

諸 派：会派所属無

**岩月 幸雄** 自民クラブ

●ごみ処理と発電

**質問** 木質バイオマス活用による経費負担と間伐支援効果は

渡刈クリーンセンターでは間伐材などの木質バイオマスが助燃剤として活用されているが、市の経費負担と間伐支援効果は。

**答 弁** 産業部

森林組合が間伐材を森林組合木材センターまで運搬し長さ調整等を行う経費と、渡刈クリーンセンターが森林組合から助燃剤として買い取る価格の差額を市が森林組合に補助している。支援効果は、林地残材がエネルギー資源として有効活用され一定の価値を生むこと。また、売れ残り等の木材も一定価格で買い取る保障があるため市場価格の下支えや搬出間伐の収支計画が立てやすくなるが挙げられる。

**大村 義則** 諸 派

●先生の多忙化解消で元気な学校づくりを  
●下請け中小企業の新しい発展のために

**質問** 教職員の時間外勤務の調査結果は

教職員に対して実施した時間外勤務調査の結果は。

**答 弁** 学校教育部

9月における市内小中学校の勤務時間外の在校時間の記録について、学校ごとの状況を調査したところ、100時間以上は小学校全体で26人、1校あたり平均0.35人。中学校全体で68人、1校あたり平均2.52人。80時間以上100時間未満は、小学校全体で156人、1校あたり平均2.08人。中学校全体で121人、1校あたり平均4.48人。個人ごとの調査はしておらず、最も多かった人の時間は把握していない。

**太田 博康** 自民クラブ

●農商工連携・6次産業化による地域産業の振興  
●公共交通対策と鉄道駅周辺のまちづくり

**質問** 連続立体交差事業に関する鉄道事業者負担の軽減策は

連続立体交差事業は高い効果が期待できる一方、鉄道事業者への負担も大きく、事業化難航の一因となっている。鉄道事業者の負担を減らす支援策や事業化への打開策について、本市の考えは。

**答 弁** 都市整備部

国土交通省は「鉄道事業者に対する無利子貸付制度」を平成18年度に創設し、既に活用している自治体もある。今後は、無利子貸付制度なども参考にしながら、引き続き名古屋鉄道と費用負担の協議調整を進める。また、間接的な支援として、駅アクセス道路の都市基盤整備など、鉄道の利用者増加につながる関連事業も推進する。

**中村 孝浩** 市民フォーラム

●放課後児童の居場所づくり

**質問** 放課後児童クラブの4年生以上の受け入れについて

放課後児童クラブ受入対象の小学校4年生以上への拡大の考えと今後の進め方は。

**答 弁** 子ども部

現在4年生以上を受け入れている13のクラブは次年度以降も継続して受け入れる。現在は受け入れていないが現状の施設で受入が可能な6のクラブは平成25年度から受入を開始する。現状の施設では受入ができない34のクラブは順次施設を整備し受入を進める。施設整備費用の見込みは総額8億円程度。当面は4年生の受け入れを優先し、5年生以上の対象拡大は考えていないが、状況を見ながら時期を捉えて検討することになると考えている。

**田代 研** 公明党

●高齢化施策

**質問** 肺炎球菌ワクチン接種高齢者に対する助成は

肺炎で亡くなる人は高齢者を中心に年間8万人にも達しているが、高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の助成について、本市の考えは。

**答 弁** 福祉保健部

現在、国において予防接種制度の見直しが検討されており、高齢者の肺炎球菌ワクチンについても定期接種化の必要性や費用負担のあり方などが検討されている。肺炎球菌ワクチン接種の助成について、現時点では市単独での助成の実施は考えていないが、近隣市町村の状況を情報収集すると共に、引き続き国の予防接種制度の見直しの動向を注視していく。

**松井 正衛** 自民クラブ

●学校教育における諸課題

**質問** 学校の門戸を開放し地域や家庭との連携を深めよ

現在各学校の門戸は閉ざされ、防犯カメラが設置され地域と隔離されている。今後、門戸を開放し、学校・地域・家庭の連携を深めていくべきと考えるがいかがか。

**答 弁** 学校教育部

現在の状況が、開かれた学校づくりを推進する上で相反していることは認識している。しかし現状を考えると一律一斉の開門へ転ずることは時期尚早であり、安全性の確保を最優先として、学校単位での判断を継続する。引き続き各学校が積極的に情報発信を行うことで地域や家庭と情報を共有し、開かれた学校づくりを進めていきたい。





## 11月市議会臨時会

11月25日の1日を会期として開催しました。条例改正の1議案を審議し、原案を可決しました。臨時会の内容は次のとおりです。

### 議案説明

#### 【第99号】市職員給与条例の一部改正条例

平成23年の人事院勧告に準じて、市職員の給料月額の下げなどを行います。

企画総務委員会に付託され、承認しました。

**質問** 職員の働く意欲、生活への影響に対し、どのような理解活動を行ったのか。

**答弁** 職員組合との交渉を重ね、現下の厳しい経済状況からしてやむを得ないことを十分理解してもらい、合意を得た。今回の引き下げ対象である中高年齢層は、主に係長以上の職員であり、本市においては人事考課制度による処遇反映を実施している。これにより、給与水準は民間に合わせて引き下げるものの、努力に報いて、働く意欲が低下することのないよう対応している。

### 議案審議結果

#### 11月市議会臨時会に付された案件

採決結果	会派別賛否		※自民クラブは議長を除く	
	賛成	反対	賛成	反対
自民クラブ 28名(1名欠)			市民フォーラム 9名	
			公明党 4名	
			諸派 4名	
			賛成	反対

#### ◆議案

第99号	市職員給与条例の一部改正条例	原案可決	27	0	9	0	4	0	2	2
------	----------------	------	----	---	---	---	---	---	---	---

#### ◆報告

第12号	専決処分の報告について									
------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## ○中学生が12月定例会 一般質問を傍聴



▲朝日丘中学校の生徒のみなさん



▲藤岡南中学校の生徒のみなさん

## ○防犯キャンペーンに 議員も参加



▲市民のみなさんに年末年始を安全に、安心して過ごしてもらうため、12月1日に豊田市中心市街地で街頭啓発活動を実施しました。地域の防犯活動団体とともに防犯の呼びかけと啓発グッズを配布し、防犯意識の大切さを呼びかけました。

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

「市議会だより」のバックナンバーや  
詳しい会議録もご覧いただけます。

インターネット録画放送

豊田市議会  検索

<http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.html>

<その他>の「議会中継録画映像」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

## ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想  
また、市議会へのご意見・ご要望も受け  
ていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

### 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)

## ◆ 訃報 ◆

本市議会 山田和之議員(67歳)が12月2日逝  
去されました。

山田氏は、平成15年の初当選以来連続3期当  
選され、企画総務委員長や生活社会委員長の要  
職を歴任し、長年にわたり市政の発展にご尽力い  
ただきました。

ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り  
いたします。



### 3月市議会定例会の予定

3月市議会定例会は  
3月1日(木)開会予定です

※この冊子は、折込み「12月市議会  
定例会号」です。

※このページは裏面になります。  
本紙から抜き取ってご覧ください。



とよた市議会だよりは、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、  
有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています